

みどりの風

山口県自然観察指導員協議会 会誌

山口自然観察会 No.108

2020年10月(秋 号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています

今後の会議の予定

令和2年度 会計監査 日時 令和2年11月1日(日)

令和3年度 第1回役員会 日時 令和2年11月8日(日) 下松中央公民館

令和3年度 定時総会

日時 令和2年11月15日(日) 10:00～

場所 アクトビレッジ おの

・総会

・講話 田中 浩氏 (第3支部)

『山口県の身近な哺乳動物の おもしろい生態』

・観察会 上原勇一郎氏 (第4支部)

『小野湖周辺の野鳥観察』

※ なお、当日は駐車場で農機具の展示会が開催予定です。
隣接する多目的広場に駐車するようお願いします。案内あり。

表紙説明

第564回 NACS-J自然観察指導員講習会・山口

初秋の秋吉台を舞台に、県内外から参加した28名の皆さんは、座学や野外実習、そして、ミニ観察会を体験して、みごとにNACS-Jの真新しい腕章を手に入れました。

令和2年(2020年)9月19日(土)～20日(日) 植田高弘

新人会員20名！！

自然観察指導員講習会 in 秋吉台終了

会長 大田 和彦

新自然観察指導員の皆様おめでとうございます。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

秋の味覚のマツタケも絶滅危惧種になったようです。現状のままでは地球環境はどのような変化するのか危惧されます。我々の活動により微力ながら環境悪化・生物種の減少を食い止めていきたいと思えます。

現在の会員数は20名増え、100名となりました。久し振りに若い人も多数加入されました。新入会員の皆様には期待しています。各種観察会や研修会には多くの会員が積極的に参加されますようお願いいたします。また、11月には令和3年度定時総会が開催されます。大多数の会員の出席をお願いします。

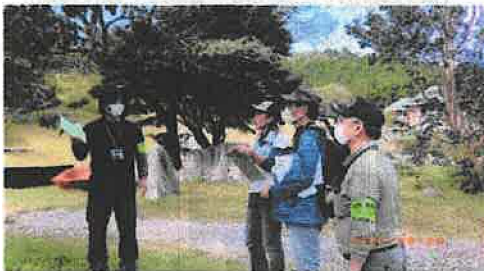
最後になりましたが、皆様方の御健勝と御活躍を祈念します。



座 学



野 外 実 習



緊張した？ ミニ観察会



晴れて腕章を手に！

【本部・支部共催 活動報告】 かたつむり観察会 令和2年6月21日(日)

於：秋吉台および別府・弁天池

第3支部 増野和幸

梅雨のまっただ中、当日は曇り空の観察会には最適の天気でした。午前中は、秋吉台エコミュージアムの恒例行事・親子かたつむり観察会と合同での活動で、9時半に台上の長者ヶ森駐車場に集合。日程説明と草原で観察できるかたつむりについて説明がありました。その後、近くの長者ヶ森に移動し、林内でかたつむり探し。貝掘り用の熊手を手に、落葉の下、倒木、樹幹など、興味津々に探しました。身近な生きものですが、いざ探すとなるとなかなか見つからないものです。子どもたちの目は鋭く、約40匹、5種類を見つけ、観察することができました。長者ヶ森での観察を終え、麓の林の石灰岩表面に生息する紅色をした微小なかたつむり、ベニゴマオカタニシの観察に移動しました。最初は、石灰岩表面のどこにも見つからなかったのですが、目が慣れて1匹が見つかったと、ここあそこたくさんいるのが観察できました。駐車場の広場で終わりのお話を聞いて、親子の皆さんとはお別れをしました。

協議会のメンバーは、別府の弁天池に移動し、池近くの厳島神社境内でお弁当を食べました。湧水のエメラルドグリーンと、流水中の藻類ベニマダラの赤褐色の美しさには、メンバーも思わずカメラのシャッターを切っていました。

午後からの観察は、弁天池の畔にあるフジやモミジの樹幹にしがみつくように、細々と生息している煙管貝・シイボルトコギセルと、そばを流れる流水に浸る落葉の裏に生息するアキヨシホラアナミジンナ、そして溪流中の小石に生息する小型のチリメンカワニナの3種類でした。いずれも手に取り写真に撮影したり、ルーペで観察したりしました。

今回は、陸のかたつむりだけでなく、淡水にすむ貝も観察しましたが、身近にいる小さな生き物にも目を向け、自然に親しむのも楽しいと感じました。

当日の参加者は、親子かたつむり観察会 16名、指導員協議会関係17名でした。参加された皆さん、遠路お疲れ様でした。※観察した貝の種類は下記の通りです。

・コベソマイマイ ・ナミギセル ・アツブタガイ ・キュウシュウシロマイマイ
・ツクシマイマイ ・ベニゴマオカタニシ ・アキヨシホラアナミジンナ (ホ
ラアナミジンナ) ・チリメンカワニナ ・シイボルトコギセル



(左：駐車場で草原のかたつむりについて説明)

(下左：微小なベニゴマオカタニシの観察)

(下中：森の中でかたつむり探し)

(下右：樹幹に生息するシイボルトコギセル)



寂地山・小五郎山の保全活動及び植生調査

本部・2支部

定点観測を行っている寂地山縦走路と小五郎山金山谷ルート(登山道)の点検整備と植生調査を下記の要領で行います。来春も点検整備を行って、植物観察のシーズンを迎えたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

○ 寂地山

日 時 10月10日(土) 9:00~16:00

集 合 9:00 寂地峡入口駐車場

※緑のスタッフジャンパー目印

予備日 10月11日(日) 9:00~16:00

○ 小五郎山

日 時 10月17日(土) 8:00~17:00

集 合 8:00 錦川清流線錦町駅

※緑のスタッフジャンパー目印

予備日 10月18日(日) 8:00~17:00

持参物 弁当、お茶、タオル、軍手、雨具、のこぎり、鎌

注意事項 ・スズメバチ対策…黒い服装は不可
・保険の対応は各自でお願いします。
・参加希望者は、前日までに下記へ連絡ください。
(当日、飛び入り参加も歓迎!)

※連絡先 大田 Tel・fax 0833-46-0103

携 帯 090-1189-8769



第3支部 コウモリの生態

・秋吉台サファリ研修会 参加者募集

令和2年10月24日(土)(雨天決行)

場所：秋吉台科学博物館・秋吉台サファリランド

山口県内に生息する哺乳動物であるコウモリの生態について、研究者である秋吉台科学博物館の石田麻里さんにお話をうかがいます。秋吉台には石灰岩の洞窟が数多く存在しますが、その洞窟を生息場所とするコウモリがいます。石田さんは、長年にわたってその生態を調査し研究しておられます。かつては、私たちの住居にもコウモリが住んでいたりと、夕方になると夕闇の中を羽ばたく姿を見たものです。最近のコウモリたちの状況はどうなっているのでしょうか。興味ある話題が出てくると思います。

秋吉台サファリランドは、県内はもちろん、全国的にも数少なくなったサファリランドの一つです。今なお数多くの野生動物たちが自然の環境の中で生活し、多くの人たちが身近で観察したり、接したりすることができます。日々、野生動物のお世話をし、その生態を解説しておられる池辺祐介園長さんや飼育員の方々にお話をうかがいます。動物たちとの接し方やガイドの仕方、モットーとしていること、失敗談も含めたお話が聞けるとと思います。また、実際のガイドの見学も予定しています。

以上、内容の濃い研修会になると思います。支部以外の方、会員以外の方の参加もOKです。ふるってご参加ください。

なお、参加を希望される方は、事前に人数を把握したいと思います。事前に下記までメール、電話等でお申し込みください。

申込先：増野 (090-8997-3368, kmashino@js4.so-net.ne.jp)

【日程】

○集合時間：10:00 秋吉台科学博物館前駐車場

○日程：コウモリ講演会 10:15～11:00

秋吉台科学博物館見学 11:00～11:30

移動・昼食 秋吉台サファリランドレストラン 12:00～12:45

※各自お弁当等をとられても可。

サファリランド研修会 13:00～15:00

解散 サファリランドにて。



(左：ユビナ
ガコウモリ)

(右：レッサー
パンダの
餌やり)

(「RDBやまぐち2019」Webより 秋吉台サファリランドHPより)

講演会のご案内

～ お問い合わせ・詳細等はセミナーパークHPへ ～

夢トークinやまぐちⅣ ～環境学習講演会～

主催：公益財団法人山口県ひとつくり財団

持続可能な 循環型社会を めざして



～プラスチックごみの行方～

山口大学名誉教授

うきた まさお

浮田 正夫 氏

1969年 京都大学大学院農学研究科修士課程農芸化学専攻修了
1969年 山口大学工学部土木工学科助手
1983年 京都大学論文工學博士
1989年 講師・助教授を経て山口大学工学部教授
2007年 退職、山口大学名誉教授

専門分野は水質管理、廃棄物、環境倫理等。

現在、宇部環境国際協力協会顧問、NPO法人うべ環境コミュニティ理事長、山口市・下関市・周南市環境審議会委員、ESDうべ推進協議会会長として、ESD環境教育に力を入れている。



会場

山口県セミナーパーク 講堂

入場無料

定員

150名 ※要約筆記あり

申込方法

「ホームページ」「携帯サイト」「郵便ハガキ」のいずれかの方法でお申込みください。
電話・FAXでのお申込みは受け付けておりません。(裏面参照)

募集期間

10月15日(木)～11月17日(火) (ハガキの場合は必着)

無料シャトルバスを運行します
(事前申し込み不要)

JR新山口駅～四辻駅～セミナーパーク

新山口駅(新幹線口)



12:30
15:55

四辻駅



12:50
15:40

セミナーパーク



12:55
15:30

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむを得ず内容の変更や中止になる場合があります。

令和2年度 第4回役員会議事録

日 時 令和2年8月18日(日) 13:00~16:00

場 所 山口県秋吉台青少年自然の家

- ・出席 9名(自然の家職員、NACS-J 浅岡、黒田、大田、永井、増野、松原、脇田、植田)

議 題 ①自然観察指導員講習会について

- ・自然の家職員の説明、コロナ対策について
- ・NACS-Jより概要説明、役割分担
- ・会場下見

日 時 令和2年9月20日(日) 18:30~19:00

場 所 美祢市美東町民センター

① 令和3年度定時総会について

② ・日時 11月15日(日) 10:00~

・場所 アクトビレッジ おの

・内容 総会、講話、野鳥観察会

○その他

・機関誌カラー化へ検討。

・令和2年度監査 11月1日(日)

・令和3年度第一回役員会 11月8日(日) 於下松

《 編集後記 》

秋号をお届けします。先月中旬から2日間、NACS-Jの第564回自然観察指導員講習会・山口が開催されました。

新しく会員になりました皆様方には、実り多い講習会ではなかったかと思います。

早速ですが、11月15日(日)には、令和3年度の定時総会が宇部市小野の「アクトビレッジおの」で開催されます。お待ちしております。

同封しているハガキに必要事項を記入して11月5日(木)までに届くようお願いします。

次なる一歩を踏み出しましょう。(U)

山口県自然観察指導員協議会会誌
＜みどりの風＞

■発行 山口県自然観察指導員協議会
会長 大田 和彦

〒744-0043 下松市東陽 2-2-5

Tel(Fax)0833-46-0103

■機関誌編集長 植田 高弘

〒759-6603 下関市安岡町 8-14-21

Tel(Fax)083-258-2706